



2006~2007年度
国際ロータリーのテーマ
率先しよう
2006~2007年度
ウィリアム・ビル・ボイド

Weekly Report

創立: 1980年(昭和55年)1月10日
会長: 遠山 堯郎
幹事: 天野 正明
会報委員長: 稲垣 豊
例会日: 毎週木曜日 PM12:30~
会場: ヒルトン名古屋
事務局: 460-0008
名古屋市中区栄1丁目33
ヒルトン名古屋910号
TEL: 052-211-3803
FAX: 052-211-2623
MAIL: 2760nagoya@mizuho.rc.jp
URL: http://www.mizuho.rc.jp/

第1317回例会

ロータリー親睦活動月間

2007年5月10日(木) 雨 第39回

司会: 渡辺喜代彦会場副委員長
斉唱: 「君が代」「奉仕の理想」
ゲスト: つばめ自動車代表取締役社長 天野清美さん
故大和哲郎さんご長男 大和直樹さん
ビジター: 四日市RC 市川峰新さん
名古屋RC 岡谷為一さん

会長挨拶

遠山堯郎会長

今日は、まことに残念な挨拶になりました。瑞穂ロータリークラブの会員、大和哲郎さんは、病氣療養中でしたが、5月2日(水)22時50分にご逝去されました。私と天野幹事は、先輩のご指導を得て、4日(木)に、ご遺体のある昭和区の自宅へ弔問に伺って参りました。告別式は、5月7日(月)に覚王山日泰寺・普門閣にて、葬儀委員長・つばめ自動車株式会社の天野清美社長、喪主はご長男の大和直樹(妻・美智子氏:次男・雄樹氏:親戚一同)さんでとり行われました。この訃報に接し、62歳と4ヶ月強の若い命、ただただ残念でなりません。今年の3月1日の午後、名古屋市立大学へお見舞いに行きました時、ご本人は「なんとか7月から例会に出席したい」と申されて嬉しく思っていました。瑞穂ロータリークラブへの入会は1975年(昭和60年)12月9日でした。瑞穂ロータリークラブでは90~91年に親睦委員長、94~95年に会場委員長、96~97年は本多清治クラブ会長の幹事として、00~01年はローターアクト委員長、01~02年はクラブ奉仕委員長、02~03年は新世代委員長、03~04年は職業奉仕委員長として、私達のクラブに大きな足跡を残されました。第2760地区では98~99年は分区代理副幹事、02~03年には第11回ライラセミナー実行委員長として、新世代の大きな行事を瀬戸サンパレアにて見事な仕上げをされました。この実績がいまも地区のライラ実行委員会に継承され、今年の3月には第15回目のライラセミナーが終わりました。また、名古屋瑞穂ロータリークラブは創立30周年が迫っています。会員の誰もがクラブを超えて、将来はさまざまな活躍を大和さんに期待していたことは間違いのないと思います。仕事に関しては、孫子の兵法「彼を知り己を知らば、百戦殆(あや)うからず」で、つばめグループの社長として6年間頑張られました。会長になられてからも、その経営方針は変わりなく、現場がどうなっているか、机上論で仕事をする人ではありませんでした。見習うところが多くありました。大和さんの「よっしゃ、わかった、そうしょ!」の言葉が懐かしくてなりません。残念です。素晴らしい人間財産を失った気がします。後日追悼ウィークリーを発行させていただきます。



出席報告

宮崎信次出席委員

会員73名 出席50名 (出席計算人数51名)

出席率74.51%

4月26日は補填により 88.46%

幹事報告

天野正明幹事

- 本日、例会終了後、第11回理事会です。13時35分より4階「梅の間」です。
- 次週5/17(木)は台北延平RCメンバーのウェルカムパーティーです。18時からヒルトン5階「金扇の間」にて行います。
- 翌日5/18(金)はさよならパーティが、18時からランドピアサーカスにて行われます。本日参加者のメールボックスにスケジュール、メンバー表などを入れてあります。

臨時例会変更のお知らせ

名古屋北			6/15(金)
名古屋東南		5/30(水)	6/13(水)
名古屋中	5/21(月)※		6/11(月)※
名古屋和合	5/23(水)		6/6(水)
名古屋名東	5/22(火)		
名古屋名北	5/23(水)		
名古屋大須		5/31(木)※	
名古屋栄			6/4(月)※
名古屋名南	5/22(火)※	5/29(火)◇	
名古屋昭和	5/21(月)※	5/28(月)※	
名古屋西南	5/24(木)		
名古屋葵		5/31(木)※	6/14(木)※
名古屋清須	5/22(火)		
尾張中央	5/23(水)		
豊山一城北		5/29(火)	

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。
◇はサイン受付時間が17:30~18:30となります。

ニコボックス

宮崎信次ニコボックス委員

- 当社代表取締役会長、故大和哲郎氏の社葬には多数の皆様にご会葬いただき、誠にありがとうございました。故人生前同様、これからも御指導の程よろしく御願ひ申し上げます。天野 清美さん
- 先日は父、大和哲郎のつばめグループ合同社葬には、多くの方に御会葬頂き誠に有難う御座いました。大和 直樹さん
- 会員、大和哲郎さんのご逝去、本当に残念です。クラブにとって、人間財産を無くした気持ちです。遠山 堯郎さん
- 大和さんのご冥福をお祈りします。渡辺喜代彦さん
- 大和さんを偲んで。近藤 洋輔さん 天野 正明さん 宮崎 信次さん
- 大和さんのご冥福を祈ります。長坂 邦雄さん 田中 隆義さん 岡本 忠史さん
- 大和さん、おくやみ申し上げます。近藤 雄亮さん 田中 政雄さん

- ①大和哲郎君が逝って仕舞いました。享年62才は如何にも早過ぎる旅立ちでした。今は只彼のご冥福をお祈り申し上げます。
- ②4月25日は何回目か忘れてましたが結婚記念日でした。野崎 洋二さん

- ・5月18日は結婚記念日です。 堀 慎治さん
- ・5月5日は結婚記念日、5月15日は私のバースデーです。 佐藤 一郎さん
- ・5月10日は結婚記念日です。 布目 徳さん
- ・5月4日は結婚記念日でした。とりたてて何もなく終わりました。 稲葉 徹さん
- ・例会欠席が続きました。4月29日は結婚記念日でした。 西 初彦さん
- ・5月1日は私の誕生日でした。 高村 博三さん
- ・5月16日は家内の誕生日です。 増田 盛英さん
- ・今日卓話をやります。 馬場 将嘉さん

5月お誕生日おめでとう

高村 博三さん 長瀬憲八郎さん 春日 良平さん
加納 裕さん 佐藤 一郎さん 堀 慎治さん

弔問御礼

大和直樹さん

先日の父の葬儀にあたりましては、ご会葬頂き誠に有難うございました。また連休中にもかかわらず、迅速に連絡を回していただいたこと厚く御礼申し上げます。また、当日は混雑に取り紛れ、行き届かぬことばかりでございましたことお詫び申し上げます。父が遠くに逝って初めて、その生き方をさまざまな角度から見る事ができたような気がしております。この瑞穂RCにて多くのご友人、また諸先輩方に囲まれ過ごした日々は大変貴重であり、幸せな生涯だったと思わずにはいられません。これからも皆様からお寄せ頂いた口上と父の思い出を大切に参りたいと存じております。格別なご高配につきまして、簡単ではございますが御礼申し上げます。ありがとうございました。



委員会・同好会報告

国際奉仕委員会：岩田修司委員長

5月17～19日、2泊3日で台北延平RCのメンバー28名の方がお見えになります。本日メールボックスに詳しい行程表を入れておきましたが、少々補足を致します。5月17日のお迎えの出発時間は、ヒルトンを14時45分です。

次期ロータリー財団委員長：伊藤 豪さん

皆様のお手元に資料を配布致しました。フランスへ研究グループ交換の派遣メンバー募集についてです。内容につきましては、派遣先、派遣期間、派遣人員、応募方法などが掲載されております。第2760地区より1団体派遣したいと考えておりますので、皆様ご協力をお願い致します。

卓話

馬場将嘉さん

「飛鳥の明日香」

みなさんこんにちは。テーマは「飛鳥(飛ぶ鳥)の明日香」です。「飛ぶ鳥」と書いて「あすか」と呼ぶのがみなさんご存じのことだと思えます。場所は奈良県高市郡明日香村、紀伊半島の南側、西は大阪府・和歌山県、北に京都府、東に三重県に挟まれた海のない県です。



今は名古屋の方が長いですが、生まれてから22才まで奈良県に住んでいました。

歴史の年号や日本書紀、古事記では「飛ぶ鳥」で「あすか」と呼んでいます。万葉集では「明日に香る」で「あすか」と呼んでいるようです。この言葉の語源を調べたら、外來說では渡来人が日本に安宿の地をみつめて、それがなまって「あすか」になった。朝鮮語で安宿の地を「あんすく」と呼ぶそうで、それがなまって「あすか」になった。昔おめでたいものには白鳳など鳥を使ったことから、鳥が降り立った所という意味で「飛ぶ鳥」を使った。など色んな説があるそうです。この地区は昭和31年に高市村と阪合村と飛鳥村の3村が合併をして、その時に万葉集から「明日香村」とつけたそうです。

この場所は、飛鳥時代推古天皇が即位した592年6世紀の終わりから元明天皇が奈良時代、平城京に都を移すまでの間、歴代の天皇の都があって政治が行われていたという場所です。天皇が住んで政治が行われていたことから古墳もたくさんあったり、仏教の伝来があったり、朝鮮から文化や芸術が来たりという場所です。

私が22才の頃、「古都保存法」というものが決まって国立の公園ができました。古墳がたくさんある高松塚周辺地域、蘇我入鹿の邸宅があった甘樫丘地区、石舞台古墳がある石舞台地区、祝戸地区、の4つの地区が国の公園に指定されております。

高松塚周辺地区には高松塚古墳などの古墳があります。最近新聞等で、高松塚古墳の石室の中に美人画や星座が描かれているのですが、部屋に入ったことによって湿気かカビなどができてしまい、壁画をどうやって保護するのが問題になっています。高松塚古墳に壁画が発見されたことで、キトラ古墳からも壁画が発見されました。キトラ古墳には動物や干支などが描かれていたようです。こちらも保護のために解体して保管されているようです。

飛鳥村は小さな区域なので、自転車で周られたらいいと思います。近鉄の飛鳥駅で降りられたら、駅で自転車を借りることもできます。高松塚古墳の資料館で古墳の中に入っていたものなども見られるようです。高松塚周辺地区にはこうした古墳が多数見られます。ですが、まだ誰のものかは判明しておりません。天武天皇、持統天皇の御陵は判明しており、宮内庁管轄できちんと整備されております。この近くに石を加工したのも、我々は「鬼のまな板」や「鬼のせっちゃん」と呼んでいたものですが、おそらく古墳の石室に切り出したものだと思います。

北へ上がると蘇我氏の館があったと言われている甘樫丘地区があります。甘樫丘は展望台になっていて、登ると万葉集などに詠まれている大和三山、畝傍山(うねびやま)、天香久山(あめのかぐやま)、耳成山(みみなしやま)を見る事が出来ます。畝傍山は初代天皇の神武天皇御陵がある山です。甘樫丘へ登るとなぜ飛鳥に都ができたのかがわかる気がします。100m前後の甘樫丘の南側に天皇の宮殿があります。ちょうど北から来る敵に対する防備になっています。南には吉野山という大きな山があり、そこからの敵襲はないと言ってもいいでしょう。その他にもたくさんあるようですが、まだ発掘がされていないようです。

もっと北へ行くと飛鳥大仏がある飛鳥寺があります。飛鳥寺は日本で一番大きなお寺です。もう少し南の石舞台地区には石舞台古墳があります。ここには大きな石が積んであって、蘇我馬子の墓ではないかと言われています。

その南の祝戸地区には公園があって宿泊施設などがあります。飛鳥村には飛鳥川という川が1本流れています。名古屋駅から約2時間なので電車でお出かけになってはいかがでしょうか？

今週卓話

5月17日(木)

会員卓話：入江 理さん
テマ：「私の趣味」

次週卓話

5月24日(木)

会員卓話：近藤茂弘さん
テマ：「新入会員イニシエーションスピーチ」